

授業科目名	乳児保育Ⅱ		担当教員名	森下 真由美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	保育の内容・方法の理解に関する科目	
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
開講学年/学期	1年 後期 (3期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。	
授業の概要及び全体目標	新生児～二歳児の成長発育や課題を理解し、乳児保育の目標とねらい及び、保育内容における実践等の知識や技術を習得する。 また、乳児の発達過程における玩具の提供の大切さを考え、感覚・情緒・社会性及び子育て支援等の保育の実践からその対処を学ぶ。			
到達目標	(1)3歳未満児の発育・発達課程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 (2)養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 (3)乳児保育における配慮の実践について、具体的に理解する。 (4)上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。 ※「乳児保育」とは、3歳未満児を念頭においた保育を示す。			
テキスト	「実践につながる 新しい乳児保育」(ミネルバ書房)			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 「新訂 見る・考える・創り出す 乳児保育」(萌文書林) 「保育とカリキュラム」			
成績評価の方法	平常点 (受講態度、受講カード等) 30% 課題 (発表・レポート) 30% 理解度チェック 20% レポート20%			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	0歳児保育の実践 1歳児保育の実践			(1),(2),(3)
第2回	2歳児保育の実践			(1),(2),(3)
第3回	遊びのあり方と保育実践(DVD参照) レポート「DVDより学んだこと」			(1),(2),(3)
第4回	心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 特別な配慮を要する子どもに対する支援			(1),(2),(3)
第5回	到達度チェック 手作りおもちゃ発表 発表からの学び レポート			(1),(2),(3)
第6回	集団での生活における配慮と環境の変化や移行に対する配慮			(1),(2),(3)
第7回	長期的な指導計画と短期的な指導計画 保育とカリキュラム参照			(4)
第8回	集団の指導計画と個別の指導計画 保育者の専門性 レポート			(1),(2),(3),(4)